

## I. 大学の概要

### 白百合女子大学の概要

学校法人白百合学園は、明治 11 年（1878 年）に来日した 3 人のフランス人修道女が函館に修道院を創設したことに始まります。その後、明治 14 年（1881 年）東京・神田猿樂町に学校を設立し、以来 1 世紀以上に亘り、シャルトル聖パウロ修道女会の運営により学校教育を行っています。

白百合女子大学（以下本学という。）の前身である白百合短期大学は、昭和 25 年（1950 年）に設置され、昭和 40 年（1965 年）には四年制大学に移行して、東京・調布の地にキャンパスを構えました。

本学は、キリスト教のカトリシズムの伝統による人格形成を基本理念とし、知性と感性との調和のとれた女性の育成を目指しています。そのため、四年制大学移行後も、カトリック精神にもとづく少人数教育の実践を基礎として、カリキュラムや教育施設を拡充してきました。

現在、学部は、国語国文学科、フランス語フランス文学科、英語英文学科、児童文化学科（児童文学・文化専攻、発達心理学専攻）を有し、高いレベルの教育が実施されています。また、学生の探究心や向上心を刺激する多彩なプログラムも用意されており、それぞれの夢の実現や自己のさらなる可能性を広げる機会を積極的に提供しています。留学制度は、特にフランス語フランス文学科と英語英文学科の学生に利用され、毎年多数の短期語学研修・長期留学者が海外で知見を深めつつ、その語学力に磨きをかけています。さらに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校のそれぞれの教員免許取得を目指す教職課程を整備し、保育士・司書・司書教諭といった資格取得プログラムも展開されています。

平成 2 年（1990 年）には、学部における学術研究を基礎に、さらに深い学識と高い研究能力を養い、文化の向上と社会の福祉に寄与することを目的として、大学院も設置されました。現在では、学部の専門教育と密接に連携する修士課程 5 専攻・博士課程 3 専攻が整い、実践的な分野で活躍しうる高度の知見を備えた専門家を社会に輩出しています。

今後は、卒業生に対する高い社会的評価を支えに、変化する社会と時代の要請に応えるため、キャリア支援にも力を注ぎ、それぞれの個性を生かした能力を発揮できる女性を、社会に送り出していきたいと考えています。

## II. 事業の概要

### 【教学改革の推進状況】

- 平成 22 年 4 月より、「e-システム（電子ポートフォリオ）を活用したキャリア力育成」の中心的な取組みとなる電子ポートフォリオシステム(manaba folio)の運用を開始。文部科学省の平成 21 年度大学改革推進事業「大学教育・学生支援推進プログラム」として採択されたもので、電子ポートフォリオシステムの構築とそれらを利用したキャリア支援体制づくりを試みることで、社会から求められるキャリア能力、その基盤となる社会人としての資質向上を目指す。
- 「文学部における国際的就業力育成支援事業」が、文部科学省の平成 22 年度「大学生の就業力育成支援事業」に採択された。この支援事業は、①「就業意識」の向上、②「就業力」の改善・強化、③「就業機会」の開拓・提供、④グローバルな「ビジネスチャンス獲得力」の育成、⑤「起業力」の育成を目的とし、平成 26 年度まで様々な取組みを実施予定。
- 初年次教育に関して、その教育内容や方法について全学的な視点から情報を共有し総合的に検討・実行するため、初年次教育実行委員会を設置。
- 国際交流に関する学内の方針を立案し、その推進に関する事項について審議するため、国際交流委員会を設置。
- 平成 22 年度より、共通科目授業「海外ボランティア実践演習」を開始。この授業は、異文化の旅先で先進的なボランティアに体験的に触れることが目的。国内演習は、6 月と 8 月に山形県高島町にて有機農業を体験。海外演習は、8 月と 9 月にフィリピンにて N G O ダバオ医科大学公衆衛生研究所 I P H C (Institute of Primary Health Care) の協力のもと、平成 23 年 2 月にはネパールにて N G O 栄養学促進機構 N P C S (Nutrition Promotion and Consultancy Service) の協力のもとに実施。
- 平成 22 年 5 月、共通科目授業「情報科学基礎演習 A」で大学生のための「総合防災教育」を実施。調布消防署の全面的な協力のもと、新入生全員が応急手当や A E D（自動対外式除細動器）の扱い方を学習。
- 平成 23 年 2 月～3 月、イギリス・コッツウォルド地方チェルトナムにあるグルースターシャーカレッジにおいて学生 12 名が参加し、第 1 回「海外ビジネス実践研修」を実施。参加者はビジネス英語を学びながら、企業やチャリティー団体などを訪問して講義を受講。
- 平成 23 年 3 月に認証評価機関である財団法人大学基準協会より「大学基準」による「適合」認定を受領。認定期間は平成 30 年 3 月 31 日までの 7 年間。
- 平成 23 年 1 月、韓国ソウル市にあるキリスト教プレスビテリアン系総合大学のソウル女子大学校と相互交流協定を締結。協定の目的は、研究・教育上の交流、資料・情報の交流、教職員の交流。相互交流協定に基づき、平成 23 年 3 月、両大学間の学生交流に関する協定に調印。

## 【経営管理並びに施設・設備等に関する事業】

### < 1. 環境・施設等の新設・修繕・更新 >

- 1号館・図書館の耐震補強工事を実施。文部科学省の構造耐震指標（I<sub>s</sub>値0.7以上）を充足する耐震補強を施工、1号館は平成22年9月、図書館は平成23年3月に完成。
- 自転車通学者の増加に伴い東門駐輪場の拡張工事を実施、駐輪機100台を増設。構内の外灯ポール10本を更新、中庭から図書館への通路に低所照明5台を新設。
- 経年劣化による設備更新として、学内で使用している井水を汲み上げている第2井戸の深井戸ポンプ、第1井戸の井水処理装置の電動弁、及び受電設備内の真空遮断器6台を交換。
- 省エネ法に基づき、学内エネルギー使用の合理化を図るべく「エネルギーの管理標準」を策定。当初は本年度使用量の削減目標を前年比2%減に設定していたが、使用効率の管理、改善を推し進めた結果、6.1%減と当初目標を大幅に上回る成果を達成。

### < 2. 就業力育成支援 >

- 2011年度からスタートする「白百合グローバルビジネスプログラム」に先立ち、1号館4階にグローバルビジネスプログラム支援センターを設置。併せて英語力のブラッシュアップツールとして英語学習用のe-ラーニングシステムを構築。支援センター内には、学生自らが学習できるe-ラーニング環境や関連する各種資料を整備した。また、このe-ラーニングシステムは、学内のインターネットに接続されたPCであればいつでもどこからでも利用が出来る。総合的な英語の学習から資格試験のTOEIC対策、語彙力や英作文の養成まで幅広い学習が可能。

### < 3. 情報化推進 >

- 経年により機能、操作性共に陳腐化した講義室用ノートパソコン65台と、学生共有スペースに設置のデスクトップパソコン61台を最新機種に更新。また、全教室にブルーレイディスク対応プレーヤーを設置。
- インフォメディアセンターに学生用のビデオカメラと動画編集用パソコンを増設。また、学生共有パソコン全てに写真画像編集ソフトを導入、学生の授業用教材作成や課外活動記録等の利用に即したメディア編集環境を整備。
- 図書館の基幹システム（E-cats）のバージョンアップを実施。検索機能の強化により利用者の利便性を向上。
- 3号館に無線LANのアクセスポイントを新設して無線LANシステムを構築、タブレット端末などを使用した授業も可能となった。来年度以降、他号館の無線LAN環境も整備していく方針。
- 1号館1階の旧事務室を4つの講義室に改修、それぞれにマルチメディア対応AV機器を新設。

### < 4. 事務職員の時間外労働の見直し >

- 従前より過重であった時間外労働の内容を精査すると共に、効率的な業務運営に努める事で前年比20%強の削減を達成。

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 決算の概要

平成 22 年度決算の消費収支における帰属収支差額は 283 百万円と、前年度に比べ 124 百万円の増加、消費収支差額では 44 百万円の支出超過となるも、前年度の超過額に比べ 432 百万円の減少となった。期中の施設整備事業では、年度計画の中核となる 1 号館・図書館の耐震補強工事を施工、これらを含めた基本金組入額は 328 百万円と、新館建設による単年度の組入額が増加した前年度に比べ、307 百万円の減少となった。施設設備に係る大型投資を耐震補強工事に絞り込んだ結果、消費収支は粗均衡に近い水準に回復している。

資金収支では、資産運用支出として 460 百万円を計上、450 百万円を施設設備の更新の備えとして減価償却引当特定資産に資金留保し、2,011 百万円を次年度への繰越支払資金とした。

運用財産の状況では、総資産額は 23,622 百万円で前年度に比べ 206 百万円の増加、負債の部は、前受金などの減少に伴い前年より 77 百万円減少し 2,574 百万円となった。基本金の部は、新規の設備投資に充てた 328 百万円の第 1 号基本金への組入れにより 21,197 百万円となった。消費収支差額の部は、前年度の繰越消費支出超過額が 104 百万円、本年度の支出超過額が 44 百万円、148 百万円を翌年度繰越消費支出超過として計上した。基本金と消費収支差額の合計額は 21,048 百万円で、総資産に占める割合（自己資金構成比率）は 89.1%となった。

（ここに掲載する財務状況は白百合女子大学単体の財務状況であり、本学を含めた法人全体の財務状況につきましては学校法人白百合学園のホームページ『<http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/index.html>』をご覧ください）

## 資金収支計算書

平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで

(単位 円)

収入の部				
科目	予算	決算	差異	備考
学生生徒等納付金収入	2,530,421,000	2,530,195,300	225,700	入学金、授業料などの納付金収入。 ※1
手数料収入	72,309,000	72,023,200	285,800	入学検定料、証明手数料、試験料収入など ※2
寄付金収入	20,170,000	20,053,200	116,800	教育環境整備寄付金、卒業生寄付金など
補助金収入	364,890,000	364,890,000	0	
国庫補助金収入	363,890,000	363,890,000	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
その他補助金収入	1,000,000	1,000,000	0	学術研究振興資金の交付金
資産運用収入	208,855,000	208,340,160	514,840	公社債配当金、預金利息、施設使用料収入など
資産売却収入	124,000	124,740	△ 740	備品売却による収入
事業収入	76,560,000	78,094,951	△ 1,534,951	主に学生寮の寮費収入
雑収入	45,818,000	43,630,207	2,187,793	主に退職金財団交付金収入
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,780,770,000	1,703,223,500	77,546,500	新入生、在学生に係る翌年度分の授業料など
その他の収入	58,737,400	57,278,906	1,458,494	前期末未収入金、預り金など
資金収入調整勘定	△ 1,909,262,400	△ 1,909,052,400	△ 210,000	前期末前受金や当年度末未収入金などの調整勘定
前年度繰越支払資金	2,294,238,248	2,294,238,248		前年度から繰越された現金預金
<b>収入の部合計</b>	<b>5,543,630,248</b>	<b>5,463,040,012</b>	<b>80,590,236</b>	

支出の部				
科目	予算	決算	差異	備考
人件費支出	1,767,765,000	1,765,872,682	1,892,318	専任・非常勤教職員の人件費支出 ※3
教育研究経費支出	488,955,000	482,252,533	6,702,467	教育研究活動に係る経費支出
管理経費支出	292,443,000	285,998,966	6,444,034	教育研究経費以外の経費支出 ※4
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	324,625,000	323,849,987	775,013	建物、構築物の取得などに係る支出 ※5
設備関係支出	118,710,000	112,412,491	6,297,509	機器備品、図書などの取得に係る支出 ※6
資産運用支出	460,000,000	460,000,000	0	特定資産への繰入支出 ※7
その他の支出	53,476,770	51,852,351	1,624,419	預り金、前期末未払金、前払金など
[予備費]	(5,400,000)			
	44,600,000		44,600,000	
資金支出調整勘定	△ 31,161,047	△ 30,927,109	△ 233,938	前期末前払金や期末未払金などの調整勘定
次年度繰越支払資金	2,024,216,525	2,011,728,111	12,488,414	来年度へ繰越する現金預金
<b>支出の部合計</b>	<b>5,543,630,248</b>	<b>5,463,040,012</b>	<b>80,590,236</b>	

## 注記

※1: 入学金収入213百万円、授業料収入ほか2,317百万円

※2: 入学検定料69百万円、証明手数料2百万円

※3: 教職員人件費1,743百万円、退職金22百万円

※4: 学校法人白百合学園法人本部への法人負担金支出76百万円を含む

※5: 建物12百万円、構築物8百万円、建設仮勘定302百万円

※6: 教育研究用機器備品72百万円、その他の機器備品8百万円、図書31百万円

※7: 減価償却引当特定資産へ450百万円、退職給与引当特定資産へ10百万円

## 消費収支計算書

平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部				
科目	予算	決算	差異	備考(資金収支計算書と異なる点など)
学生生徒等納付金	2,530,421,000	2,530,195,300	225,700	
手数料	72,309,000	72,023,200	285,800	
寄付金	22,170,000	22,351,103	△ 181,103	寄贈図書などの現物寄付が含まれる ※1
補助金	364,890,000	364,890,000	0	
国庫補助金	363,890,000	363,890,000	0	
地方公共団体補助金	0	0	0	
その他補助金	1,000,000	1,000,000	0	
資産運用収入	208,855,000	208,340,160	514,840	
資産売却差額	124,000	0	124,000	資産売却収入が当該資産の簿価を超過する際の超過額
事業収入	76,560,000	78,094,951	△ 1,534,951	
雑収入	45,818,000	43,638,740	2,179,260	※2
帰属収入合計	3,321,147,000	3,319,533,454	1,613,546	
基本金組入額合計	△ 321,000,000	△ 328,203,713	7,203,713	第1号基本金組入れ328百万円
<b>消費収入の部合計</b>	<b>3,000,147,000</b>	<b>2,991,329,741</b>	<b>8,817,259</b>	
消費支出の部				
科目	予算	決算	差異	備考(資金収支計算書と異なる点など)
人件費	1,779,665,000	1,778,080,000	1,585,000	退職給与引当金繰入額29百万円が含まれる
教育研究経費	898,955,000	890,162,365	8,792,635	減価償却額407百万円が含まれる
管理経費	358,443,000	351,034,335	7,408,665	減価償却額65百万円が含まれる
借入金等利息	0	0	0	
資産処分差額	14,648,000	14,625,958	22,042	簿価が資産売却収入を超過する際の差額、除却損など ※3
徴収不能額	1,650,000	1,650,000	0	学納金の徴収不能
[予備費]	50,000,000		50,000,000	
<b>消費支出の部合計</b>	<b>3,103,361,000</b>	<b>3,035,552,658</b>	<b>67,808,342</b>	
当年度消費支出超過額	103,214,000	44,222,917		
前年度繰越消費支出超過額	104,766,148	104,766,148		
基本金取崩額	0	0		
翌年度繰越消費支出超過額	207,980,148	148,989,065		

## 注記

※1: 現物寄付金2百万円

※2: 私立大学退職金財団交付金18百万円、受託研究費1百万円、  
本部援助金4百万円、著作権印税5百万円、その他の雑収入14百万円

※3: 備品処分差額11百万円、その他の資産処分差額2百万円

## 貸借対照表

平成23年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	21,350,390,630	20,943,205,615	407,185,015
有形固定資産	13,141,349,400	13,189,478,322	△ 48,128,922
土地	3,454,020,720	3,454,020,720	0
建物	7,182,108,770	7,182,504,561	△ 395,791
建設仮勘定	5,391,750	19,530,000	△ 14,138,250
その他の有形固定資産	2,499,828,160	2,533,423,041	△ 33,594,881
その他の固定資産	8,209,041,230	7,753,727,293	455,313,937
流動資産	2,272,120,002	2,473,112,009	△ 200,992,007
現金預金	2,011,728,111	2,294,238,248	△ 282,510,137
その他の流動資産	260,391,891	178,873,761	81,518,130
<b>資産の部合計</b>	<b>23,622,510,632</b>	<b>23,416,317,624</b>	<b>206,193,008</b>

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	706,439,575	694,232,257	12,207,318
長期借入金		0	
その他の固定負債	706,439,575	694,232,257	12,207,318
流動負債	1,867,729,911	1,957,725,017	△ 89,995,106
短期借入金		0	
その他の流動負債	1,867,729,911	1,957,725,017	△ 89,995,106
<b>負債の部合計</b>	<b>2,574,169,486</b>	<b>2,651,957,274</b>	<b>△ 77,787,788</b>

基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	21,040,330,211	20,712,126,498	328,203,713
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	157,000,000	157,000,000	0
<b>基本金の部合計</b>	<b>21,197,330,211</b>	<b>20,869,126,498</b>	<b>328,203,713</b>

消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
年度消費支出準備金		0	0
翌年度繰越消費支出超過額	148,989,065	104,766,148	44,222,917
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 148,989,065</b>	<b>△ 104,766,148</b>	<b>△ 44,222,917</b>

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>23,622,510,632</b>	<b>23,416,317,624</b>	<b>206,193,008</b>

## 財産目録

平成23年3月31日現在

I 資産総額	23,622,510,632円
内 基本財産	13,144,521,095円
運用財産	10,477,989,537円
収益事業用財産	0円
II 負債総額	2,574,169,486円
III 正味財産	21,048,341,146円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	55,293.46㎡ 3,454,020,720円
建物	36,040.23㎡ 7,182,108,770円
図書	265,591冊 1,677,803,979円
教具・校具・備品	2,819点 646,388,512円
建設仮勘定	5,391,750円
その他	178,807,364円
2 運用財産	
現金預金	2,011,728,111円
その他	8,466,261,426円
3 収益事業財産	0円
資産総額	23,622,510,632円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0円
その他	706,439,575円
2 流動負債	
短期借入金	0円
その他	1,867,729,911円
負債総額	2,574,169,486円
正味財産(資産総額－負債総額)	21,048,341,146円

## 2. 経年比較

## (1) 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部	2006年度(平18)	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)
学生生徒等納付金収入	2,647,784,000	2,579,544,400	2,570,545,000	2,548,182,000	2,530,195,300
手数料収入	89,409,170	73,197,000	66,279,385	73,429,300	72,023,200
寄付金収入	20,681,036	16,032,222	15,726,846	17,676,290	20,053,200
補助金収入	278,210,000	239,861,000	215,812,000	225,169,000	364,890,000
資産運用収入	425,403,877	422,070,787	299,126,570	240,894,465	208,340,160
資産売却収入	166,000,000	0	0	100,054,000	124,740
事業収入	110,302,470	109,023,697	96,695,498	98,858,650	78,094,951
雑収入	84,449,725	116,670,128	66,461,258	107,202,891	43,630,207
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	670,061,800	1,823,302,400	1,826,294,600	1,777,196,400	1,703,223,500
その他の収入	99,156,938	104,583,566	230,044,402	581,195,309	57,278,906
資金収入調整勘定	△ 787,938,716	△ 771,923,100	△ 1,872,218,400	△ 1,871,564,000	△ 1,909,052,400
前年度繰越支払資金	770,563,725	824,641,821	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248
<b>収入の部合計</b>	<b>4,574,084,025</b>	<b>5,537,003,921</b>	<b>5,308,907,317</b>	<b>5,925,986,480</b>	<b>5,463,040,012</b>

支出の部	2006年度(平18)	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)
人件費支出	1,713,258,351	1,812,868,277	1,823,174,267	1,855,619,440	1,765,872,682
教育研究経費支出	622,592,641	583,987,822	502,836,130	474,834,820	482,252,533
管理経費支出	279,538,749	305,071,772	308,278,790	305,441,965	285,998,966
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	635,888,750	521,729,068	475,051,386	569,800,305	323,849,987
設備関係支出	196,446,282	248,630,124	170,210,451	150,835,996	112,412,491
資産運用支出	300,000,000	300,000,000	10,000,000	0	460,000,000
その他の支出	43,014,562	48,588,899	65,093,028	301,908,904	51,852,351
資金支出調整勘定	△ 41,297,131	△ 78,012,199	△ 73,428,910	△ 26,693,198	△ 30,927,109
次年度繰越支払資金	824,641,821	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111
<b>支出の部合計</b>	<b>4,574,084,025</b>	<b>5,537,003,921</b>	<b>5,308,907,317</b>	<b>5,925,986,480</b>	<b>5,463,040,012</b>

## (2) 消費収支計算書

(単位:円)

消費収入の部	2006年度(平18)	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)
学生生徒等納付金	2,647,784,000	2,579,544,400	2,570,545,000	2,548,182,000	2,530,195,300
手数料	89,409,170	73,197,000	66,279,385	73,429,300	72,023,200
寄付金	20,870,990	16,319,399	18,419,699	22,895,962	22,351,103
補助金	278,210,000	239,861,000	215,812,000	225,169,000	364,890,000
資産運用収入	425,403,877	422,070,787	299,126,570	240,894,465	208,340,160
資産売却差額	0	0	0	134,000	0
事業収入	110,302,470	109,023,697	96,695,498	98,858,650	78,094,951
雑収入	84,468,455	116,670,128	66,470,031	107,413,657	43,638,740
<b>帰属収入合計</b>	<b>3,656,448,962</b>	<b>3,556,686,411</b>	<b>3,333,348,183</b>	<b>3,316,977,034</b>	<b>3,319,533,454</b>
基本金組入額合計	△ 140,143,725	△ 201,836,705	△ 389,019,661	△ 635,872,592	△ 328,203,713
<b>消費収入の部合計</b>	<b>3,516,305,237</b>	<b>3,354,849,706</b>	<b>2,944,328,522</b>	<b>2,681,104,442</b>	<b>2,991,329,741</b>

消費支出の部	2006年度(平18)	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)
人件費	1,714,534,872	1,817,045,979	1,826,636,763	1,844,355,766	1,778,080,000
教育研究経費	1,092,270,278	1,085,195,759	987,390,690	916,202,708	890,162,365
管理経費	302,247,022	330,262,963	353,479,049	369,898,707	351,034,335
資産処分差額	248,059,235	83,910,184	36,600,276	24,828,205	14,625,958
徴収不能額	550,000	0	1,670,000	1,850,000	1,650,000
<b>消費支出の部合計</b>	<b>3,357,661,407</b>	<b>3,316,414,885</b>	<b>3,205,776,778</b>	<b>3,157,135,386</b>	<b>3,035,552,658</b>
当年度消費収支超過額	158,643,830	38,434,821	△ 261,448,256	△ 476,030,944	△ 44,222,917
前年度繰越消費収支超過額	435,634,401	594,278,231	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越消費収支超過額	594,278,231	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065

## (3)貸借対照表

(単位:円)

資産の部	2006年度(平18)	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)
固定資産	20,713,438,286	21,173,514,343	21,260,579,711	20,943,205,615	21,350,390,630
有形固定資産	12,749,124,804	12,910,459,924	12,993,066,355	13,189,478,322	13,141,349,400
土地	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720
建物	6,773,509,983	6,880,902,478	6,584,050,133	7,182,504,561	7,182,108,770
建設仮勘定	150,000,000	100,000,000	440,269,000	19,530,000	5,391,750
その他の有形固定資産	2,371,594,101	2,475,536,726	2,514,726,502	2,533,423,041	2,499,828,160
その他の固定資産	7,964,313,482	8,263,054,419	8,267,513,356	7,753,727,293	8,209,041,230
流動資産	955,559,831	1,929,755,712	2,086,615,448	2,473,112,009	2,272,120,002
現金預金	824,641,821	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111
その他の流動資産	130,918,010	135,615,554	58,923,273	178,873,761	260,391,891
<b>資産の部合計</b>	<b>21,668,998,117</b>	<b>23,103,270,055</b>	<b>23,347,195,159</b>	<b>23,416,317,624</b>	<b>23,622,510,632</b>
<b>負債の部</b>					
固定負債	697,855,733	702,033,435	705,495,931	694,232,257	706,439,575
長期借入金	0	0	0	0	0
その他の固定負債	697,855,733	702,033,435	705,495,931	694,232,257	706,439,575
流動負債	734,466,613	1,924,289,323	2,037,180,526	1,957,725,017	1,867,729,911
短期借入金	0	0	0	0	0
その他の流動負債	734,466,613	1,924,289,323	2,037,180,526	1,957,725,017	1,867,729,911
<b>負債の部合計</b>	<b>1,432,322,346</b>	<b>2,626,322,758</b>	<b>2,742,676,457</b>	<b>2,651,957,274</b>	<b>2,574,169,486</b>
<b>基本金の部</b>					
第1号基本金	19,485,397,540	19,687,234,245	20,076,253,906	20,712,126,498	21,040,330,211
第4号基本金	157,000,000	157,000,000	157,000,000	157,000,000	157,000,000
<b>基本金の部合計</b>	<b>19,642,397,540</b>	<b>19,844,234,245</b>	<b>20,233,253,906</b>	<b>20,869,126,498</b>	<b>21,197,330,211</b>
<b>消費収支差額の部</b>					
翌年度繰越消費収入超過額	594,278,231	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>594,278,231</b>	<b>632,713,052</b>	<b>371,264,796</b>	<b>△ 104,766,148</b>	<b>△ 148,989,065</b>
<b>負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>21,668,998,117</b>	<b>23,103,270,055</b>	<b>23,347,195,159</b>	<b>23,416,317,624</b>	<b>23,622,510,632</b>

## 3.主な財務比率比較

(単位%)

比率名	算式	2006年度末 (平18)	2007年度末 (平19)	2008年度末 (平20)	2009年度末 (平21)	2010年度末 (平22)
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	8.17	6.75	3.82	4.81	8.55
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	95.48	98.85	108.87	117.75	101.47
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	72.41	72.52	77.11	76.82	76.22
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	46.89	51.08	54.79	55.60	53.56
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	29.87	30.51	29.62	27.62	26.81
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	8.26	9.28	10.60	11.15	10.57
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	130.10	100.28	102.42	126.32	121.65
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金*1}}$	7.07	12.82	13.31	12.77	12.22
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金*2}}$	93.38	88.63	88.25	88.67	89.1
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100	100	99.86	99.98	100

\*1 自己資金＝基本金+消費収支差額

\*2 総資金＝負債+基本金+消費収支差額